

重要取組シート

西区役所 企画総務課

取組項目		安全で安心して暮らせる持続可能な地域環境の整備
現状・課題		○ 「安全・安心なまちをみんなで創る」という理念のもと、14 校区一体となり地域防災力の向上や防犯活動に取り組んできた。石津川浸水想定区域の見直しや新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえた対応など、新たな課題への対応が必要である一方、地域コミュニティの希薄化や高齢化などにより、担い手が不足している。 ○ 生活上の負担や悩みを抱えているが適切な支援につながらないまま、地域で孤立してしまう世帯への支援が必要である。 ○ 西区では、地域団体、事業者、個人の方が運営主体となって 13 か所の子ども食堂を開設し、子どもの居場所を提供しているが、予算的に運営が厳しい。
取組の内容		○ 防災対策の推進にあたっては、危機管理部局及び被害が想定される区との広域連携を図り、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた地区防災計画策定の推進、区民の防災意識の向上、避難所運営体制の充実、防災情報の発信強化等に取り組む。 ○ 犯罪発生を抑止を図るため区と警察が連携し、公設防犯カメラの設置を推進する。 ○ 複合的な課題を抱えている区民が適切な支援につながるように、区役所相談体制の強化に向けた取組みを実施する。 ○ 食品ロス削減のため大学や企業等と連携し、市の非常用備蓄食材や食品取扱企業等から提供された食材のレシピ開発を行い、区内の子ども食堂に提供する。合わせて、健康に関する情報提供を行う。
スケジュール	前期 (～7月)	□ 「地区防災計画」策定状況の確認 □ 公設防犯カメラ設置に向けた調整 □ 包括的相談支援体制の構築に向け保健衛生の関係機関による連絡調整会議（西区保健福祉連絡会）を開催 □ 大学や企業、区社協等と事業実施スキームの具体化を検討
	中期 (～11月)	□ 「地区防災計画」未策定校区への策定支援 □ 「地区防災計画」策定済校区への計画見直し支援 □ 公設防犯カメラの設置 □ 西区保健福祉連絡会の開催 □ 大学と連携し食材を活用したレシピを開発
	後期 (～3月)	□ 防災意識向上に資する防災啓発の実施 □ 西区保健福祉連絡会の開催 □ 開発したレシピと一緒に食材を子ども食堂に提供開始
	次年度以降	□ 「地区防災計画」の策定、見直しの支援 □ 公設防犯カメラ設置の推進 □ 生活福祉部と連携し、区の包括的相談支援体制を構築 □ 大学や企業等と連携し、健康フェスタ等のブースで活動内容を展示するとともに、更なる連携の取組を検討

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 「地区防災計画」策定状況の確認(6月) ☐ 公設防犯カメラ設置に向けた調整(4月～) ☐ 西区保健福祉連絡会を開催し包括的相談支援体制の構築に向け検討 ☐ 大学、西区社協及び子ども食堂と事業スキームを検討		
	中期 (～11月)	☐ 「地区防災計画」未策定校区への策定支援(6月～) ☐ 「地区防災計画」策定済校区への計画見直し支援(6月～) ☐ 公設防犯カメラの設置(11月) ☐ 西区保健福祉連絡会の開催、実務者による西区保健福祉担当者連絡会の開催 ☐ 大学のプロジェクト演習として寄付食材等を活用したレシピ開発に着手		
	後期 (～3月)	☐ コロナ禍における避難所運営研修実施(12月) ☐ 浜寺東・福泉上校区 「地区防災計画」策定(1月) ☐ 浜寺東・津久野校区 わがまち防災マップ(石津川水害編)作製(3月) ☐ 西区保健福祉担当者連絡会の次年度の取組計画を協議(3月) ☐ 寄付食材や非常用備蓄食材(液体ミルク)を活用したメニュー・動画レシピ等を大学ホームページ等で公開し報道提供。新聞(1紙)に掲載される。(3月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 4- (1) 健康で長生きできる都市の実現 5- (4) 4Rに根差した循環型社会の形成		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値(2023年度) —